

礼拝・集会休止のお知らせ

みなさまの平和をお祈りいたします

依然として新型コロナウイルスによる感染拡大と被害の報告が続いています、一日も早い事態の収束を願っております。また引き続き、命を守りあうため、可能な対応を重ねつつ、この事態に教会としてまた一人ひとりがよりよく対処してゆきたいと思えます。

さて、この感染症対応について、聖公会東京教区では高橋宏幸教区主教より、3月4日に4通目の新たな文書が発せられました。(東京教区HP参照 <http://www.nskk.org/tokyo/>)

ことに今回の文書では、人びとの「命を守るために」を最優先し、東京という人口が密集し、接触や移動の機会の感染や拡散のリスクの高い地域社会にある教会の社会に対する責任を果たすという意味から、これまでの会合の自粛の要請に加えて、次の3項目が決定として伝えられています。

- 1 3月8日(大斎節第2主日)から29日(同第5主日)まで礼拝(公禱)を休止する
- 2 葬儀に関しては、十分な感染予防対策の上で執り行う
- 3 第136(定期)教区会(3月20日に予定)を延期する

そこで、聖アンデレ教会としては、3月8日から29日までの間、公表され公開で行われているすべての礼拝(公禱/日曜日の「聖餐式」「こどもとともにささげる礼拝」「夕の礼拝」、週日の「聖餐式」)を休止いたします。またその間、教会が行う集会や会合につきましても、原則としてすべて自粛することといたします。

尚、その間は、祈禱書の「朝の礼拝」「朝の祈り」「聖書日課」などを用いて、神様との交わりの時、祈りの時を持たれることが勧められています。

また、聖アンデレ主教座聖堂のホームページ(<http://www.anglicanecathedral.tokyo/>)を通じて「自宅で行う主日礼拝」をはじめ、情報の提供がなされます。

これまでにない形ではありますが、ともに祈り合うことによる連帯や信頼の中に主がおられることを強く信じ、それぞれの場での祈りを大切にこの時をともに過ごしてゆきたいと思えます。

尊い命を失われた方々の魂の平安を、悲しみのうちにある方々に慰めが与えられますよう、お祈りください。また感染された方々の回復とそのために働く方々、この事態のため生活に困難を感じている方々をおぼえてお祈りいたしましょう。

2020年3月6日

日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会
牧師 司祭フランシス下条裕章

TEL 03(3431)2822 FAX 03(3433)5698 E-mail st-andrew.tko@nskk.org